

令和5年度 長野女子高等学校 学校関係者評価(PTA関係者)

学校教育目標(めざす学校像)

建学の精神 校是「梅花不撓風雪」
 校訓「礼節」礼儀を重んじ、思いやりの心を持ち、女性らしい温雅と清らかな心を培う
 「創造」自ら知識と技能を体得し、正しく広く追及していく清楚な姿勢と能力を養う
 「自律」責任と義務を自覚し、思慮深い適切な判断で行動できる実践力を養う

教育目標

1. 新時代を生きる女性として、自己の夢や希望の実現に向け、困難に挫けず粘り強く努力する力を育成する。
2. 変化の時代を生き抜く女性として、思いやりの心と社会的常識を備えた人物を育成する。
3. 一人の女性として、世の中で通用する力、多様な社会を生き抜く実力を備えた人物を育成する。

令和5年度 重点目標

1. 正しい生活習慣と、気持ちのよい挨拶ができる。
2. 「気づき」の精神で清掃活動に取り組む。
3. 生活のきまりやマナー(礼法)の順守を徹底し、規範意識と協調性の向上を目指す。
4. Classiの活用を含め、生徒のやる気と達成感、充実感を味わえる学習活動を展開する。
5. 進路の実現に向けた取り組みと生徒個々の実力の向上を図る。
6. 教員の教育実践力(教科指導と生活指導)を高め、教師として成長できるよう努める。

中・長期目標

1. カリキュラム・マネジメントの視点から学校教育目標を踏まえた教科横断的な取組を推進する。
2. 生徒一人ひとりの自立する力を育む進路指導を推進し、持続可能な社会の担い手の育成を目指す。
3. 授業改善をはじめとする生徒の学力向上に関する取組を推進し、確かな学力を育成する。
4. 社会に出ても通用する人間力の育成を推進し、地域から信頼される学校を目指す。

| 分野 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 A~C | 成果と課題 |
|--------|-------------------------|--|-----------|-------|
| 教育課程 | 教育課程の研究・改善 | 生徒が充実感や達成感を味わえる学校生活を送るための特色ある教育課程が編成されているか。 | B | |
| | | 高校卒業後の多様な進路希望に対応できる教育課程が編成されているか。 | B | |
| 学習指導 | 基礎学力定着 | 基礎学力の定着に向けた取り組みがされているか。 | B | |
| | 指導力向上 | わかりやすい授業や、生徒を目標に向かわせる努力がなされているか。 | B | |
| 生徒指導 | 校則の実践、定着 | 集団作りの観点から生活のきまりやマナーの順守を図り、生徒が学校生活を安全で楽しいと感じる雰囲気の醸成を図れていたか。 | A | |
| | | 社会的常識や規範意識の醸成を図り、生徒が身につけなければならない知識・技能・礼節・社会性などの諸方面の成長へつながっていたか。 | A | |
| | 基本的生活習慣の定着 および社会性の向上 | 挨拶の励行や清掃指導など、生涯にわたって学びの基盤となる資質や能力の育成が徹底されていたか。欠席、身だしなみなどの指導が家庭との連携のもとで継続的に行われていたか。 | B | |
| 進路指導 | 進路指導計画の確立 | 高校卒業後の生き方を踏まえて、自ら進路決定に向けた力を育成できる進指計画が整備されていたか。 | B | |
| | キャリア教育の確立 | 課題研究の取り組みやボランティアなどの課外活動への積極的な取り組みが図れていたか。 | B | |
| 開かれた学校 | 情報提供 | ホームページ、オクレンジャー、学年通信等の情報発信は、保護者の信頼や協力を得やすくするような内容であったか。 | A | |
| | 地域活動 | 生徒会、部活動などが中心となり、地域のイベントや清掃などの活動に参加し、地域住民との交流を深めることができたか。 | B | |
| | PTA活動 | PTA活動を含め、クラス・学年・学校行事などの運営を通して、様々な角度から保護者の声を吸収できていたか。 | B | |

A: 評価できる B: 概ね良い C: 不十分

<その他、お気づきの点がありましたらご記入ください>